

が交流を深める機会をつくっています。

今年度は、心のオアシス事業（悩みを共有する場の提供）、昔の遊び教室、習字教室、多国籍屋台出店、食文化体験事業、多文化交流会などを実施しました。地域に住む誰もが文化や価値観の違いを認めあい、皆が永く安心して住み続けられるような共生社会をめざし活動をしています。



げんさん食育 NPO 基金

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

【ホームページの QR コード】

採択事業は、『体感』『視覚』『味覚』『語り』で育てる『やさいづくり』です。

障がい児童通所施設「はばたき」の子ども達は、コロナ禍で多くの活動が制限され地域との交流の場が激減しています。

この事業では、子どもたちが自ら野菜を育て、調理するという体験を通じて、子どもたちの「食」への興味を深めるとともに、地域の方や友人、他法人の障がい者の方との交流を深めました。畑の作物の成長を絵などで記録して友だちと共有したり、地域の高齢者から収穫物の調理レシピを教えてもらい教え合ったり、野菜の苗を地域の方に「おすそ分け」しました。これらの活動を通じて、子どもたちが自己肯定感を高め、健やかにたくましく育っていくことを願い、活動しています。



未来ファンドおうみ通信

No. 30

2023年3月1日発行
淡海ネットワークセンター

2022 年度 未来ファンドおうみ助成事業 成果発表会を開催します！！

淡海ネットワークセンターでは、「未来ファンドおうみ」助成事業を通じて、滋賀県内で地域の課題解決に取り組む NPO や市民活動団体を支援しています。このたび、2022 年度に助成を受けた 15 団体に事業の成果を発表いただきます。

記

- ◆日時：2023 年 5 月 14 日（日） 13：00～17：00（予定）
- ◆会場：滋賀県立県民交流センター207 会議室（ピアザ淡海 2 階）
- ◆助成先団体：おうみネット 120 号の最終ページにてご確認ください。

お問い合わせ 淡海ネットワークセンター（公益財団法人 淡海文化振興財団）

〒520-0801 大津市におの浜 1-1-20（ピアザ淡海2F）

TEL：077-524-8440、FAX：077-524-8442

E-mail: office@ohmi-net.com <https://www.ohmi-net.com/>



2022年度 助成団体の活動

びわこ市民活動応援基金 A

【ホームページのQRコード】

あいとうふくしモール運営委員会



採択事業は、「暮らしの安心を応援する『ほんなら堂』強化事業」です。
愛東地域では高齢者の通院や買い物が課題となっており、様々な日常生活の困りごとを抱え不安な毎日を送っている現状があります。

この事業では、困りごとの相談を受け、通院や買物の付添、買物代行、ゴミ出し、除草、除雪、軽微な器具の



取替え、畑のそうじなどの生活支援を行っています。国や県の制度だけでは支えられない暮らしの困りごとのお手伝いをし、高齢者が孤立することなく地域で安心して暮らしていけるような地域にしたいと活動を続けています。



積水化成品基金

NPO法人 環境と農業の融合を考える会 鹿深の杜

採択事業は、「浄化水路による水質保全」です。

【ホームページのQRコード】

農業の担い手の高齢化や農業収入の減少により、耕作放棄地



がさらに増えており、今までの里山の景観や農地の環境が損なわれています。これまで鹿深の杜は、会員や甲賀市からの高齢者ボランティア、地域住民が力をあわせて耕作放棄地の復元や里山整備、周辺の環境保全を行ってきました。

今年度は今までの集大成として里山の排水溝の整備を行いました。水路やため池からの濁水や農業用排水をできるだけ浄化すると同時に、周辺の清掃や木や草の刈り取りも実施し里山環境の保全を図りました。



また、ひまわりのライトアップコンサートや大根の漬物・千切教室などのイベントも開催し、地域の方をはじめ参加者相互の親睦を深めました。



笑顔あふれるコープしが基金

「街かどアート展」実行委員会

採択事業は、『「街かどアート展」～みんなの光～』です。

地域で暮らす障がいのある方々が制作されている陶芸、絵画、写真などの作品の多くは、事業所や家庭で保管され、身近な地域で住民の目に触れる機会が少ないのが現状です。

この事業では、「巡回型展覧会」として湖東圏域（彦根市、愛荘町、多賀町、甲良町、豊郷町）にて「街かどアート展」を開催しています。



昨年11月には、滋賀大学彦根キャンパスにて「街かどアート滋賀大交差展」を実施しました。湖東圏域の障害者支援施設で制作された絵画や陶芸など約150点が展示され、来場者からたくさんのあたたかいメッセージが寄せられました。これらの活動を通じて、障がいのある人に対する地域住民の理解が深まり、差別や偏見のない地域共生社会が実現していくことを願いながら活動しています。



ナカザワ NEO フレンドシップ基金

特定非営利活動法人 米原市多文化共生協会

採択事業は、「悩みを話して共有する場の提供『エスパッソ アルコ イリス 米原』」です。

【ホームページのQRコード】

多くの外国籍市民の方が、言葉の壁や地域での交流機会がないことにより、子育てや教育関係において様々な不安を抱えています。

この事業では、外国にルーツを持つ児童・保護者の居場所や、子育て中の親子がコミュニケーションを取れる場を提供し、外国籍の子ども達と日本の子ども達と

